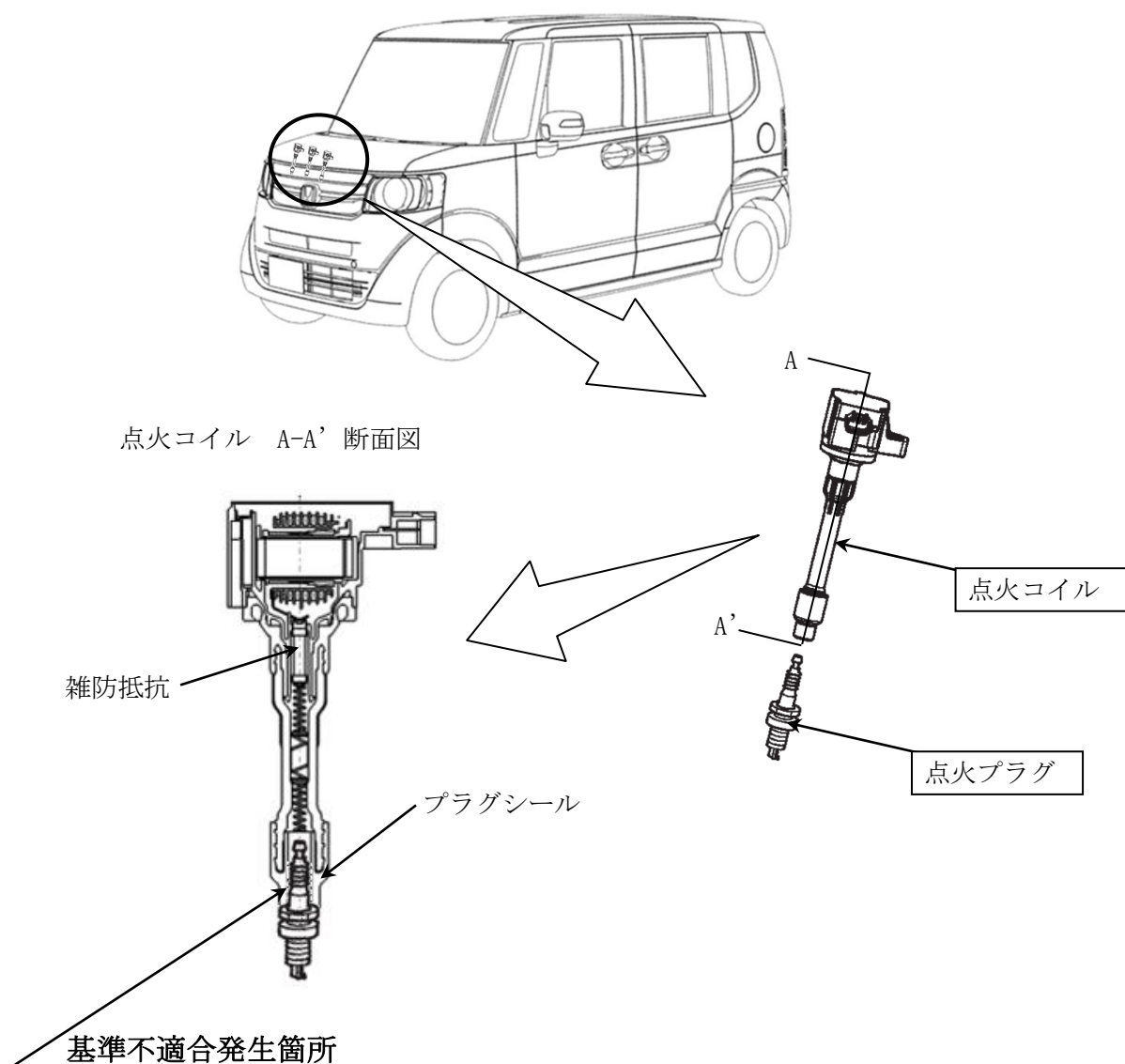


改善箇所説明図①



点火コイル内部の電気ノイズを除去する雑防抵抗の構造が不適切なため、点火時の通電によるアーク放電により、当該抵抗末端部が断線するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、プラグシールが劣化して放電し、点火コイルの出力が不足してエンジン不調となり、エンジン警告灯が点灯し、最悪の場合、エンジンが停止するおそれがある。

改善の内容

全車両、点火コイルを対策品と交換するとともに、点火プラグを新品と交換する。

注： は交換部品を示す。

識別：助手席ドアアッパヒンジ上側ボルト頭部に黄色ペイントを塗布する。